

(報道資料)

平成 16 年度 環境中のダイオキシン類の調査結果について

平成17年6月3日
奈良市企画部環境保全課対策係
0742-34-1111 (内線2232)

ダイオキシン類対策特別措置法第 26 条に基づき、平成 16 年度に奈良市が実施した環境中の大気、水質、土壌等のダイオキシン類の調査結果は、次のとおりです。

環境媒体	地点数	平均値	濃度範囲	環境基準値
大気	2	0.055	0.052 , 0.058	0.6
公共用水域水質	3	0.57	0.39 ~ 0.87	1
公共用水域底質	3	0.31	0.11 ~ 0.49	150
地下水質	5	0.18	0.022 ~ 0.44	1
土壌	5	0.31	0.012 ~ 0.78	1,000

単位：大気 pg-TEQ / m³
水質 pg-TEQ /
底質 pg-TEQ / g
土壌 pg-TEQ / g

環境中の大気、公共用水域水質、公共用水域底質、地下水質、土壌のダイオキシン類について、市内18地点で調査を実施した。
その結果、大気、公共用水域水質、公共用水域底質、地下水質、土壌の全地点において環境基準を下回っていた。

【 調査地点及び調査結果 】

大 気

1. 調査地点と検体数
西部大気汚染測定局（百楽園四丁目）と奈良市青少年児童会館（西木辻町）の2地点でそれぞれ年4回（6月，8月，11月，2月）実施。（8検体）
2. 調査結果 （別紙1）
2地点の平均値は0.055pg-TEQ / m³、濃度は年平均値でそれぞれ0.058と0.052pg-TEQ / m³であり、両地点で環境基準（0.6pg-TEQ / m³）を下回っていた。

公共用水域水質

1. 調査地点と検体数
佐保川（打合橋）、富雄川（大和田橋）、布目川（鷺千代橋（環境基準点））の3地点においてそれぞれ年1回実施。（3検体）
2. 調査結果 （別紙2）
3地点の平均値は0.57pg-TEQ / 、濃度はそれぞれ0.87、0.45、0.39pg-TEQ / であり、すべての地点で環境基準（1pg-TEQ / ）を下回っていた。

公共用水域底質

1. 調査地点と検体数
公共用水域水質と同じ3地点においてそれぞれ年1回実施。（3検体）
2. 調査結果 （別紙2）
3地点の平均値は0.31pg-TEQ / g、濃度はそれぞれ0.32、0.49、0.11pg-TEQ / gであり、すべての地点で環境基準（150pg-TEQ / g）を下回っていた。

地下水質

1. 調査地点と検体数
高樋町、白毫寺町、西九条町、大和田町、押熊町の5地点においてそれぞれ年1回実施。（5検体）
2. 調査結果 （別紙2）
5地点の平均値は0.18pg-TEQ / 、濃度範囲は0.022～0.44pg-TEQ / であり、すべての地点で環境基準（1pg-TEQ / ）を下回っていた。

土 壤

1. 調査地点と検体数
横田町、雑司町、西登美ヶ丘、菅原町、秋篠町の5地点においてそれぞれ年1回実施。（5検体）
2. 調査結果 （別紙2）
5地点の平均値は0.31pg-TEQ / g、濃度範囲はそれぞれ0.012～0.78pg-TEQ / gであり、すべての地点で環境基準（1000pg-TEQ / g）を下回っていた。

測定方法

大気

「ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル」（平成13年8月環境省大気環境課）

公共用水域水質及び地下水質

JIS K 0312（工業用水・工場排水中のダイオキシン類及びポリ-PCBの測定方法）

公共用水域底質

「ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル」（平成12年3月環境庁水質保全局水質管理課）

土壌

「ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル」（平成12年1月環境庁水質保全局土壌農業課）

【 参考 】

1. 全国における環境中のダイオキシン類濃度の状況

平成 15 年度ダイオキシン類に係る環境調査結果（平成 16 年 9 月環境省）

単位： 大気 pg-TEQ / m³
水質 pg-TEQ /
底質 pg-TEQ / g
土壌 pg-TEQ / g

環境媒体	地点数	平均値	濃度範囲	環境基準値
大気 (一般環境)	691	0.064	0.0066 ~ 0.50	0.6
公共用水域水質 (河川)	1,615	0.27	0.022 ~ 11	1
公共用水域底質 (河川)	1,377	6.3	0.057 ~ 410	150
地下水質	1,200	0.059	0.00032 ~ 0.67	1
土壌 (一般環境)	2,128	2.6	0 ~ 360	1,000

2. 用語解説

・ ダイオキシン類

ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン (PCDD)、ポリ塩化ジベンゾフラン (PCDF) 及びコプラナーポリ塩化ビフェニル (コプラナーPCB) の総称

・ pg (ピコグラム)

g(グラム)の1兆分の1の重量を表す単位

・ TEQ (毒性等量)

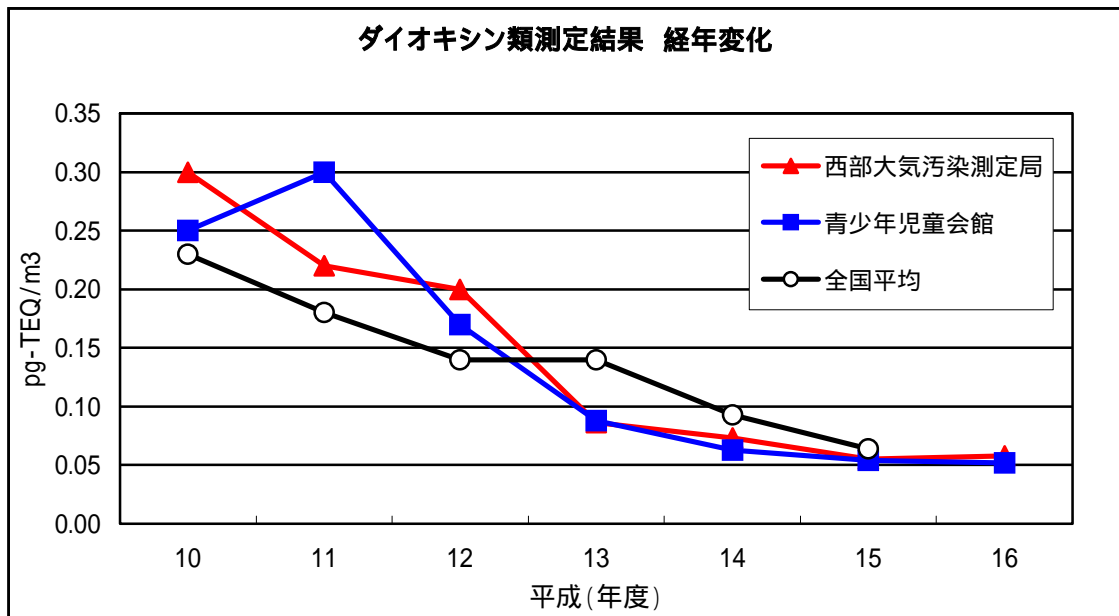
ダイオキシン類の実測濃度に TEF (ダイオキシン類の異性体の中で最も毒性の強い 2,3,7,8-TCDD の毒性を 1 としたときの他の異性体の相対的な毒性) を乗じて合計したもの

ダイオキシン類（大気）調査結果（平成 16 年度）

（単位：pg-TEQ / m³）

調査地点	調査月				平均値	環境基準値
	6月	8月	11月	2月		
西部大気汚染測定局	0.049	0.057	0.095	0.031	0.058	0.6
奈良市青少年児童会館	0.043	0.043	0.086	0.035	0.052	

< 経年変化 >



（単位：pg-TEQ/m³）

（注） H11 年度は PCDD 及び PCDF のみの値である。

ダイオキシン類（公共用水域（水質・底質））調査結果（平成 16 年度）

地 点	河 川	ダイオキシン類毒性等量	
		水質 (pg-TEQ /)	底質 (pg-TEQ / g)
大和川水系			
打合橋	佐保川	0.87	0.32
大和田橋	富雄川	0.45	0.49
淀川水系			
鷺千代橋	布目川	0.39	0.11

ダイオキシン類（地下水質）調査結果（平成 16 年度）

地 点	ダイオキシン類毒性等量 (pg-TEQ /)
高樋町	0.20
白毫寺町	0.44
西九条町	0.022
大和田町	0.12
押熊町	0.10

ダイオキシン類（土壌）調査結果（平成 16 年度）

地 点	ダイオキシン類毒性等量 (pg-TEQ / g)
横田町	0.78
雑司町	0.69
西登美ヶ丘	0.066
菅原町	0.012
秋篠町	0.021